

コイガ

洋服ダンスのおじゃま虫

発生時期												
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

発生  多い 

蛾の中には、幼虫が動物性の繊維を食害するイガ(衣蛾)やコイガ(小衣蛾)がいます。

形態と被害

コイガは、小さな蛾で、翅には紋がありません。また、幼虫は成熟すると、細長いイモムシ状になり、毛織物や毛糸、羽毛などを食害し、穴をあけます。コイガは、被害を受けた布等の上に、繊維や糞をつづりあわせたトンネル状の通路をつくるのが特徴です。

また、コイガによく似たイガという種類もいます。食害の様子はコイガと同じですが、幼虫は繊維や糞をつづったミノムシの筒状の巣を背負って歩くこと等が異なる点です。なお、毛織物等の被害はイガやコイガよりも、ヒメマルカツオブシムシの方により多くみられます。

対策

洋服ダンス等の中に、蛾が何匹も見つかった場合は、念のために衣類を調べ、できれば陽に干すことが適当です。また、ウール製品や毛糸は、防虫剤を入れ、密閉した袋等に収納するのが、最も良い方法といえます。



成虫(体長6~8mm)



幼虫(体長約8mm)



食害されたフェルト

(写真提供:東京都)